



学校だより

5月号

横浜市立東本郷小学校
令和5年4月28日

ひとにやさしくありがとうの心で がんばるがんばる最後まで 本気で取り組むひがほんの子

この意欲を手放さない

学校長 堂腰 康博

ピンク色の花を散らした校庭の八重桜が、今はもうすっかり新緑の葉で覆われています。校長室の窓から校庭を見ると、目にまぶしいほどの青空と陽光の中で子どもたちが元気に遊んでいて、新緑同様、いつまで眺めていても飽きないくらい、命の息吹にあふれています。

4月20日（木）子どもたちの手による「1年生を迎える会」が行われました。兄弟学級でペアになった6年生のお兄さん、お姉さんと手をつなぎ、花のアーチと「ミドリ」に迎えられた1年生は、全校児童からあらためて「入学おめでとう」の拍手と言葉をかけてもらい、念願の仲間入りを果たしました。「ぼくたちだけ仲間外れにされているの？」2階の窓から自分たち抜きで行われていた朝会を見ていた1年生のつぶやきを聞いていたわたしも、この瞬間を待ち望んでいました。

ここ3年はコロナ禍にあり、全校みんなで集まって何かをすることが難しくなっていました。もっと言えば、人と人が離れて過ごすことが「良いこと」とされていました。そんな中、東本郷小の子どもたちは、「つながりを大事にしたい」という気持ちを共有し、昨年度の2月から自分たちにできることを考え、この会を計画してきました。どんなゲームをしたら1年生が笑顔になれるのかな？学校のことや友達のことを知ることができるかな？と、1年生だけでなく、全校みんなで楽しめる時間になるように代表委員会を通して話し合い、準備を重ねきたのです。

「学校へ行こうよ！（仲間集め）」ゲームでは、グループになった1年生や在校生が輪になって、顔を寄せ合って自己紹介する姿に、進行を担当する子どもたちにも「いいね！」の笑顔が広がりました。代表でスピーチをした6年生の「様々な行事を通して学年関係なく、なかよくできるヒガホンにしていきましょう！」の呼びかけが、目の前で実現している素敵な「1年生を迎える会」になりました。



1年生を囲んでみんなで自己紹介

この日、子どもたちが感じた充実感や達成感は、次の新しい目標に向けてがんばる力や協調性等の「学びに向かう力」になると確信しています。教科等の授業で培われた力を学級活動や児童会活動を中心に学校生活のあらゆる場面で活用していくことが大事だということあらためて認識しました。「こうしてみたい」「こうなったら楽しそう」という思いを出発点として考え、試し、友達や先生に自分の言葉で伝え、ときに思い通りにならない悔しさを味わいながらも、やりたいことを実現するために粘り強く取り組む子どもたちが、本校の教育目標にある子どもの姿です。5月以降も、この意欲を手放さないように、しっかりと子どもたちの意見を聞き、主体性をもって学んでいける環境を工夫して創っていきます。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。